

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年12月6日
タイトル	地域の方へ思いを込めて感謝祭！2019
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年11月19日（火）福山市立金江小学校で、児童全員で行った農業体験で収穫した米などの食材を使い調理し、地域の方を招いて感謝祭を開催されましたので取材しました。

学校近くのほ場で栽培された米とサツマイモ、葱、ニンジン、大根、白菜を使い全児童が手分けしておむすびと豚汁を作りました。6年生が班長になり体育館で1から4年生と一緒におむすびを作るチームと5、6年生と一緒に豚汁を作るチームに分かれました。

体育館では、6年生がリーダーとなり運ばれてきたおひつ一杯の炊きたてごはんをお椀にラップを敷いてつぎ低学年が順におむすびを作ります。最初は慣れない手つきでしたが段々上手になり「手を丸くすると上手にできたよ」と見せてくれました。沢山作ってもうすぐ終わりというところでもう一つおひつが運ばれてきて、みんなで一生懸命作って山盛りのおむすびができました。



5、6年生は、手伝いに来てくださった保護者の方や先生に教えていただきながら一緒に豚汁を作りました。具材の多くは子ども達が作った野菜です。模造紙に書いてあるレシピを見ながら調理しました。調理室は出汁のいい香りや新鮮な野菜の瑞々しい香りがしていました。子ども達が作った大根、サツマイモ、白菜、ニンジン、葱は大きくて新鮮です。子ども達も誇らしい表情で皮を剥いたり包丁で切りました。沢山の具を丁寧に切って鍋に入れて煮、8班に分かれ、それぞれ40人前の豚汁を作りました。



感謝祭では地域の皆さんが一人ずつ紹介されました。農業体験、学校での様々な活動、登下校の見守りなど大勢の地域の方々が金江小学校に携わっておられ、子ども達が活き活きしているのは地域との連携によるもの大きいと思いました。



地域の方や子ども達と農業体験や地域の方の読み聞かせの事など
沢山話をしながら、楽しくいただきました。豚汁を5杯、おむすび
を5個も食べた子もいました。
稲刈りの時に力が入りすぎて手が痛くなったこと、一番おもしろい
本はアリのお話、みんなが大好きな給食のメニューはココア揚げパ
ンなどいろいろな話をしました。

いよいよ会食です。体育館にいくつかの輪になって座り、それぞれ地域の方を招き座布団を用意しました。大人も子どもも輪になって全員で合掌していただきました。

みんなが食べ終わる頃、5年生が米作りについてプレゼンテーションをしました。粃を塩水選で分けるところから育苗や田植え、殺虫剤や除草剤の撒き方、稲刈り、はざ掛け等説明しました。米の収穫量は165kgで、米作りの大変さを実感し米作りを通して命の尊さを学んだことや一生懸命作ったお米を食べる喜びを発表しました。低学年からは地域の方へ手作りメダルをプレゼントし肩たたきをしました。



はえ縄も準備し、田植えの様子を再現！



はざ掛けも再現！括り方はロープで見やすく！

出口では5年生がアーチを作り地域の方を見送りました。みなさんと嬉しそうにアーチをくぐり子ども達とハイタッチや握手をしておられました。受付担当の子ども達は、みんなで作ったお米をひとり一人お土産に手渡しました。

今回の感謝祭では、農業体験や学校の活動、登下校など地域でお世話になって方への感謝の気持ちや農業体験を通じて食べ物をいただくことへの感謝の気持ちが子ども達から伝わりました。参加された地域の方がとても喜んでおられるのが分かり、温かい気持ちになりました。

水土里ネット福山は、これからも21世紀土地改良区創造運動を通して子ども達と地域の絆を発信してまいります。

